

DMP が AWS を使った SaaS 型 安全運転支援クラウドサービス「ZIA™ Cloud SAFE」を発表

「ZIA™ Cloud SAFE」により、業界初のエッジ AI からクラウドまで対応した安全運転支援システム構築が可能に。「ZIA™ Cloud SAFE」はサブスクリプションサービスとして提供開始

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル(本社: 東京都中野区、代表取締役社長 大澤剛、以下 DMP)は、SaaS※¹ 型サービス「ZIA™ Cloud」の第一弾として、アマゾン ウェブ サービス(以下、AWS)を利用した SaaS 型安全運転支援サービス「ZIA™ Cloud SAFE」の提供を開始しました。「ZIA™ Cloud SAFE」は昨年 11 月に発表し安全運転支援システム開発プラットフォームとして多くの実績がある「ZIA™ SAFE」の共通技術基盤を使い、エッジとクラウドによる統合的安全運転支援サービスの構築を可能にします。「ZIA™ Cloud SAFE」は既に大手顧客に採用されており、近日中にサービスを開始する予定です。

交通事故の低減や快適なモビリティ社会の実現に向け、自動車業界や保険業界等ではドライブレコーダーを使ったドライバーモニタリング、ヒヤリハット検知、あおり運転検知など、安全運転支援システムの開発が活発に行われています。DMP はこれまでエッジ AI 技術を中心とした安全運転支援システム開発プラットフォーム「ZIA™ SAFE」を提供し、お客様のサービスの構築をサポートしてきました。

今回発表する「ZIA™ Cloud SAFE」は、DMP が新たに提供する SaaS 型のクラウドサービスです。ドライブレコーダーの社内外カメラの映像、加速度センサー、GPS 等から得られる情報をもとにエッジ AI の高速、リアルタイム処理に加え、クラウドが提供する高いコンピューティング能力を生かすことで、様々なシチュエーションに対応した高度な AI 画像認識能力と、継続的な学習による精度の向上や機能拡張を可能にする安全運転支援システムを実現します。

クラウド基盤には AWS を採用し、AWS 上の CPU、GPU、及び Amazon 独自推論プロセッサ「Inferentia」を用いることで、高負荷な AI 処理を高効率かつ低コストで運用することが可能になります。

DMP は「ZIA™ Cloud SAFE」をお客様のニーズにより柔軟に応じられるライセンス形態であるサブスクリプションライセンスとして提供します。

「ZIA™ Cloud SAFE」が提供する機能の例

- ・ ヒヤリハット解析
- ・ 居眠り運転

- ・ スマホのながら運転
- ・ わき見運転
- ・ 一時停止違反
- ・ あおり運転
- ・ 歩行者検知
- ・ 車線逸脱警報
- ・ 衝突予測
- ・ 停止線検出
- ・ ナンバープレート認識

アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 ワールドワイド コンピュート事業 アジア太平洋地域・日本担当 ディレクター 安田 俊彦は、以下のように述べています。

「AWS では CPU、GPU、FPGA に加えて、深層学習を活用したより高度なサービスを実現するため独自開発の推論プロセッサ Amazon Inferentia を利用した Amazon EC2 Inf1 インスタンスを提供しています。DMP は高いソフトウェア開発技術に加え、ハードウェアを使った最適化まで行えるパートナー企業の一社であり、AWS の先進的機能も使い安全運転支援システムに求められる高度で安定、かつ低コストの運用を実現することが可能です。AWS は今後も Amazon Inferentia を活用した機械学習や深層学習のクラウドサービス構築を行う DMP を支援してまいります」

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル代表取締役社長 COO 大澤 剛は以下のように述べています。「当社の新しいビジネス形態である SaaS 型サービス「ZIA™ Cloud」の第一弾である SaaS 型安全運転支援サービス「ZIA™ Cloud SAFE」は、エッジ側 AI モデルだけでなく、AWS のクラウドサービスを活用することでお客様に幅広いソリューションを提供することができます。当社は、今後も最先端 AI 技術の開発を続け、高信頼性・高品質かつ高効率なソフトウェアソリューションを提供してまいります」



ZIA™ Cloud SAFE

DMP は今後も事故発生を未然に防ぐための新たなモビリティサービスに対応した技術開発の取り組みを続けていきます。また「ZIA™ Cloud SAFE」によりドライブレコーダーを使った各種道路周辺情報や交通状況の収集、リアルタイム解析といった、CASE※2 や MaaS※3 に関連した新たなニーズに対応したサービス構築も同時に支援します。

※1 SaaS: Software as a Service の略。必要な機能を必要な分だけサービスとして利用できるようにしたソフトウェア(主にアプリケーションソフトウェア)もしくはその提供形態のこと

※2 CASE: Connected(コネクテッド)、Autonomous(自動運転)、Shared(シェアリング)、Electric(電動化)の頭文字を組み合わせた造語で、自動車業界の昨今の潮流を表す

※3 MaaS: Mobility as a Service の略。自動運転や AI、オープンデータ等をかけあわせ、従来型の交通・移動手段にシェアリングサービスを統合した次世代の交通のこと

■ 株式会社 デジタルメディアプロフェッショナル

DMP は、独自開発した組込機器向け 2D/3D グラフィックス技術のハードウェア IP やソフトウェア IP のライセンス、ならびにこれらの IP を搭載したグラフィックス LSI 事業を展開する研究開発型のファブレス半導体ベンダーです。近年は AI 分野において世界をリードする「AI Computing Company」となるべく、AI プロセッサ IP、ハード/ソフト製品、サービスを含む幅広いポートフォリオと独自に構築した AI エコシステムを通じたソリューションの提供を行っております。

©2020 株式会社デジタルメディアプロフェッショナル DMP、DMP ロゴ、ZIAは株式会社デジタルメディアプロフェッショナルの登録商標です。その他記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

アマゾン ウェブ サービス、AWS、Amazon Inferentia、Amazon EC2 は米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル

セールス&マーケティング部 梅田宗敬

TEL:03-6454-0450

e-mail:info_06@dmprof.com

Web サイト: <https://www.dmprof.com/jp/contact/>